



青少年赤十字

Junior Red Cross

子どもたちの「生きる力」を育む



青少年赤十字に
加盟しませんか?

 日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

※日本赤十字社公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」





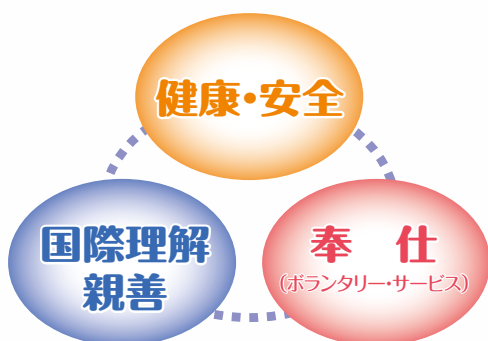
青少年赤十字の目的

青少年赤十字（JRC）は、幼児・児童・生徒が「人道」の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としています。

実践目標



「人道」の原則を達成するために、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの目標を掲げています。



「健康・安全」…

いのちと健康を大切にする。

「奉仕」…

人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する。

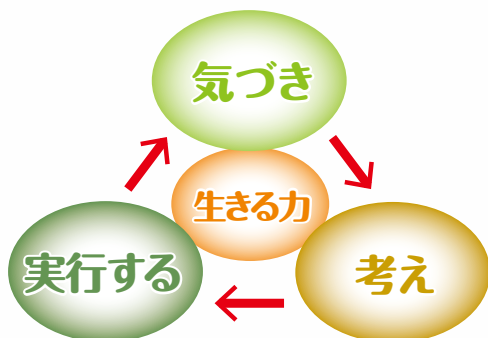
「国際理解・親善」…

広く世界の青少年を知り、なかよくたすけあう精神を養う。

態度目標



子どもたちの自主性、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という3つの態度目標を掲げています。



注意深い生活を心がけ、

自ら課題に「気づき」、

原因や問題解決の道筋を「考え」、

解決のために「実行する」

基本的生活に必要なサイクルを

身につけることができます。

学習指導要領と共通理念



「生きる力を育む」

「思考力・判断力・表現力の育成」

「自ら学び、考える力の育成」

「豊かな心や健やかな体の育成」

「体験学習の充実」「道徳教育の充実」



文部科学省が定める学習指導要領の基本的理念「生きる力」は、長年にわたり、先生方と培ってきた青少年赤十字の実践目標や態度目標のねらいと結びつくものです。





青少年赤十字の特徴

青少年赤十字では、子どもたちが赤十字の基本理念である人道的価値観を身につけて自主的、主体的に行動できる自立した個人として成長することを願っています。

子どもたちが、そのような人間として成長するための「自立への手助け」が教育の機能であり、その教育効果をより良く達成するために、赤十字と先生方が生み出し育ててきたものが、青少年赤十字の特徴的な指導理念です。



幼稚園、保育所、学校内に組織されます。あくまでも保育士や先生が指導者です。

各教科や道徳、いじめ防止の取組、安全教育、特別活動、総合的な学習の時間など、「学校の裁量」で、学校教育全般に落とし込むことができます。



青少年赤十字は世界的・全国的な組織です。

世界190ヶ国以上の姉妹赤十字社で組織されています。国内、海外のメンバー同士の交流も赤十字だからこそです。



加盟に伴う義務・制限・費用(年会費等)一切ありません。

先生方がそれぞれの教育方針に基づいて、自主的に青少年赤十字を採用し実践します。



加盟のメリット



プログラム・資料・資材を提供します。

各種体験用資材を無料で貸し出します。(資材貸出し時の送料・資材購入時は除く)

例：心肺蘇生訓練人形、AEDトレーナー、高齢者疑似体験セット、救援物資、赤十字活動紹介パネル、防災ボードゲーム、地雷模型、募金箱など





講師を派遣します。

特別活動や各教科、道徳、総合的な学習の時間など幅広く活用できます。
また、内容および時間等については、希望に応じて対応します。
(派遣費用は無料です。)

防災授業で…

赤十字の事業(災害救護)、防災学習(災害の備え等)など

防災教材を使って…

まもるいのちひろめるぼうさい(防災教育プログラム)、いえまですごろく(防災ボードゲーム)、避難所運営ゲームを使った授業など
また、幼児対象では、「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」の防災シートを使い、楽しみながら防災を学ぶことができます。



救急法体験などで…

一次救命処置(心肺蘇生とAEDの使い方)、応急手当(急病、きずの手当)、
水上安全法(事故防止、着衣泳含)、健康生活支援(高齢者疑似体験、車椅子の介助)、
幼児安全法(乳幼児に起こりやすい事故の予防と手当)など



赤十字ならではのイベントに参加できます。

「NHK海外たすけあい街頭募金」、「国際交流プログラム」、「献血ボランティア」
など様々なイベントに参加できます。



子どもたちのリーダーシップを育てます。

夏休みに開催する「広島県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」
にてリーダーシップやコミュニケーション力を身につけます。





青少年赤十字の教育理念

1 自主的で自立した子どもを育てます。

青少年赤十字の態度目標「気づき」「考え」「実行する」は、自主的・自立的な人間の形成に結びつきます。



2 ボランティア・サービス(奉仕活動)による問題解決力を育てます。

奉仕活動を行うことで「ニーズの発見」「課題解決の準備・計画」「実行」「反省」に気づき、様々な問題を解決していく力を育てます。



3 先見を重視し、自己決定力を育てます。

先を見通して考え、自分の態度を決定する力を育てます。「先見の時間」や「5分前行動」「注意深い生活態度」を大切にします。



4 指示のない自発的な生活を目指します。

他人に指示や命令をされず、自ら考え、学び、生活する力を育てます。「合図のない生活」ともいいます。

5 指導者は「待ちの姿勢」を大切にします。

自ら考え、課題解決していくためには子ども自身がまず「気づく」ことにより意欲を高めることが重要です。





活動紹介



例えばこんな活動をしています！

幼稚園 保育所



「1円玉募金」

集めたお金を世界で苦しんでいる
仲間たちへ届ける支援を行っています。



「加盟登録式」

新しく迎えた園児と一緒に
加盟の登録式をしています。

小学校



「病院への慰問」

広島赤十字・原爆病院の患者さん
に花を持って慰問しています。



「防災教育」

総合学習の時間を使って
防災教育をしています。

中学校



「NHK海外たすけあい街頭募金」

世界で苦しんでいる人たちを救うため
の街頭募金に参加しています。



「災害支援」

災害時には、物資の搬出等支援を
行っています。

高等学校



「国際交流」

姉妹赤十字・赤新月社青少年赤十字・
赤新月メンバー等と交流します。



「献血ボランティア」

夏と冬に街頭で献血の呼びかけを行
っています。



青少年赤十字年間行事・事業紹介

4月

○指導者協議会総会(対象：教員)
前年度の事業報告や今年度の事業計画について協議します。



6月

○指導者研修会(対象：教員)
生徒対象のリーダーシップ・トレーニング・センターと同様の研修を受けていただくことで、より効果的な指導法を学べます。



7月

○高等学校協議会総会1学期(対象：高校生)
県内の高校生が集まり、活動報告・計画の発表、献血についての勉強会、広報誌材の作成等を行っています。



8月

○リーダーシップ・トレーニング・センター
(対象：小・中・高校生)
夏休みに開催している青少年赤十字の最も特徴あるプログラムです。

○献血呼びかけボランティア(対象：高校生)
献血の重要性を訴え、街頭献血におけるボランティア活動を行います。



10月

○広島県赤十字大会
(対象：教員・幼児・児童・生徒)
県内の青少年赤十字メンバーが集まり、各校(園)での活動を発表します。



12月

○NHK 海外たすけあい支援キャンペーン
(対象：中・高校生)
世界で苦しんでいる人たちを救うために募金活動を行います。

○高等学校協議会総会2学期(対象：高校生)

1月

○献血呼びかけボランティア(対象：高校生)



3月

○高等学校協議会総会3学期(対象：高校生)

○国際交流プログラム(対象：高校生)
姉妹赤十字・赤新月社青少年赤十字・赤新月メンバーと交流をします。



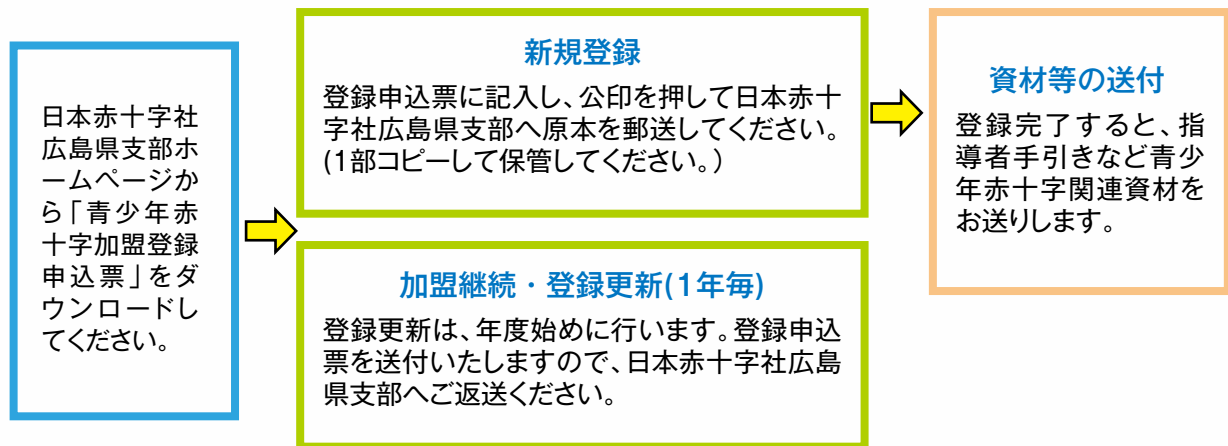
○研究会(対象：教員)
各校の実践事例の紹介や、講師を招いての特別講演など、青少年赤十字を活用した学校教育の事例を共有します。



青少年赤十字加盟登録方法

- 「登録申込票」に必要事項を記入の上、捺印し、当支部へお送りください。
- 年度ごとの更新となります。(学校の事情に合わせて加盟形態をお選びください)

青少年赤十字への加盟登録の流れ



青少年赤十字への加盟形態

① 学校単位加盟 全幼児・児童・生徒が青少年赤十字のメンバーとなります。	② 児童・生徒単位加盟 児童・生徒会の役員だけが青少年赤十字のメンバーとなります。	③ 学年または学級単位加盟 特定の学年あるいは学級単位でメンバーとなります。	④ クラブ単位加盟 クラブ(部・委員会)活動の一つとして部員がメンバーとなります。
---	--	---	--

- ☆学校教育活動の一環ですので、原則として、学校長(園長)の承認と担当していただく教員が必要です。
- ☆活動を強要したり義務を課せられることはありません。

学校現場での子どもたちの活動の充実のために、
青少年赤十字をご活用ください！



お問い合わせ

日本赤十字社広島県支部組織振興課 〒730-0052 広島市中区千田町2丁目5番64号
TEL: 082-545-5011 FAX: 082-240-2741
メール: soshiki@hiroshima.jrc.or.jp

検索ワード▼

青少年赤十字 広島 検索

